

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	1	議員名	小澤一竜	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
1	官公需の価格転嫁について	(1) 公的需要が島根県GDPに占める割合、松江市GDPに占める割合を伺う。 (2) 近年の予算編成において、物価上昇や労務単価上昇をどのように反映しているのか。公共工事のみならず、委託業務や指定管理契約などにおいてどこまで適正な価格転嫁が行われているのか伺う。 (3) この度の政府の方針に基づく、松江市の来年度予算編成の考え、対応を伺う。					
2	緊急浚渫推進事業債について	(1) これまでの浚渫事業の実績と、対象箇所調査・優先順位付け・施工体制の確保などはどのように進められているのか伺う。 (2) 制度が拡充、延長されたことで、緊急浚渫推進事業計画に盛り込む対象となり得る河川・農業排水路はどの程度あるのか伺う。					
3	松江駅前再開発について	(1) 私たちは松江テルサを有効利用すべきと考えるが、松江テルサを仮に解体するとなれば、現在いくらかかるのか、そして令和10年までである目的外利用による債務負担はいくらあるのか伺う。併せて一畑百貨店も過去に耐震工事をされているため、仮に解体、跡地に新たなビルでも建てようとするれば補助金返還が生じるはずだが、これの期限と返還になった場合の金額が分かれば伺う。 (2) 仮にテルサにしても一畑百貨店ビルにしても令和10年までの期限があるとすれば、その前に開発行為を行うのか、令和10年以降に開発に着手するのかによって一畑百貨店ビルの有効利用なのか、開発なのか大きく違ってくる。松江市としてあと数年何もしないのか、それともデザイン会議のご意見を反映した開発を早急に取り組むのか、どのようなスケジュールを考えているのか伺う。そして休止している一畑百貨店に代わる利用を早急に考えていただきたいと思うが所見を伺う。 (3) 駅前を活性化させるためには、JR路線の運用、バス路線の見直しや新たな市内循環線などによる公共交通を一体化して考えなくてはならない。松江市地域公共交通計画では、今年10月以降には再編される公共交通体系での運行を開始したいとされているが現状を伺う。					
4	新庁舎周辺の立地適正化計画について	(1) 昨年2月議会で、「新庁舎周辺整備について、島根県が別館、第2別館の敷地に新設する放水路は暗渠構造とするという方向性を示したことから、市としても、放水路上の利活用について検討できる状況となった。新庁舎周辺は、現在、第2期工事が進んでおり、また国土交通省が進める宍道湖北岸の親水護岸整備や千鳥南公園の整備なども進められている中、仮設駐車場として利用されている末次公園の再整備などを含む新庁舎周辺のにぎわい創出を目的とするまちづくりについては、四十間堀川の放水路整備の進捗状況も見極めつつ、都市再生整備計画などの活用も視野に入れながら取り組んでまいりたいと考えている。」などの答弁もいただいたが、現状、四十間堀川の放水路整備について島根県との協議はどこまで進んでいるのか伺う。 (2) 先般会派で行った研修では多くの市が都市再編整備に手を挙げているため予算の確保が難しいとの話も聞いた。後になれば後になるほど予算確保が難しいようにも感じたが、こういった制度を積極的に活用して、松江市として負担を減らすべきと考えるが、ご所見を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	1	議員名	小澤一竜	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
		質問項目	質問要旨				
5	地方公務員の副業・兼業について		(1) 松江市として公務員の副業・兼業についての現状、また今後の方向性を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	2	議員名	岩本雅之	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
1	共生社会の実現に向けて	(1) 障がいなどの特性を持った方をはじめ、松江市民が、夢を持ってチャレンジできるよう、従来のあり方を見直し、「MATSUE起業エコシステム」を再定義・再構築する必要があると思いますが如何でしょうか。 (2) 「中海・宍道湖・大山圏域【広域連携】」、「生成AIの活用」、「多文化への理解」、「地域・職場での受け入れ環境の整備」、「日本語学校や研修体制のあり方」など、様々な視点から、外国人の皆様との共生のあり方を検討するプラットフォームを構築すべきだと思いますが如何でしょうか。					
2	まちあるき政策について	(1) 松江市の中心市街地における、まちあるき政策について、今後、持続可能な機能として、どのような取組が必要だとお考えでしょうか。「カラコロ工房」を選択し、集中して質問します。 ア テナント状況、今後の見通しについて伺います。 イ 機能・拠点として期待したいことについて伺います。 ウ MaaS施策の推進と連動のあり方について伺います。					
3	官民連携のあり方・将来構想について	(1) 松江市の限られた財源では、あらゆる施策を重ね合わせ、市民とともに、社会資源・地域資源を「生み・育て・守る」視点が大切だと考えています。そして、国では、地方創生に関し、先行的な行政ビジョンや、具体的な民間の取組に対して、未来投資をしていきたいと考えています。それらに特化した官民連携体制の構築や総合施策の実現に向けて、今後のあり方や、将来構想(イメージ)をお伺いいたします。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	3	議員名	海徳邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
1	戦後80年と平和について	(1) 分断と対立を煽る風潮が目立つようになった。このような社会をどのように捉えているのか、市長の所見を伺う。 (2) 松江市は、平成22年10月に「平和首長会議」に加盟した。改めて加盟した意義と、市長の見解を伺う。 (3) 次世代を担うこどもたちにも、しっかりと語り継ぐことが非常に重要と考える。平和教育への現状と課題について伺う。					
2	水道料金の値上げについて	(1) 水道料金の見直しに向けて「松江市公共料金に関する審議会」が開催されたが、どのような意見が出ていたのか伺う。 (2) なぜ、松江市の水道料金は高いと言われるのか、その要因について伺う。 (3) 物価高騰が続く中、なぜ、この時期に値上げをするのか伺う。 (4) 松江市上下水道局として、経営努力はどのように行っているのか伺う。 (5) 松江市上下水道局の事業を、もっと市民に理解をしてもらう取り組みを行うべきと考えるが、現状と課題について伺う。 (6) 島根県企業局との関係性は重要と考えるが、現状と課題について伺う。 (7) 今後も、持続的かつ効果的な運営が求められる。国は、水道事業の広域化を推進しているが、どのように考えているのか見解を伺う。					
3	新庁舎整備事業について	(1) 現在の進捗と全館供用開始に向けたスケジュール等について伺う。 (2) 新庁舎整備事業では多額の予算が投入され、その額については様々な意見が寄せられたと思うが、期間中に物価高騰などへの対応を含め現状どのように受け止められているのか伺う。 (3) 今後の市役所のあり方についても、積極的にいろいろと取り組まれていると感じているが、その内の庁舎の利活用としてのトライアル事業の実績と今後の展望や実現に向けての課題についてどのように考えているのか伺う。 (4) 本事業は今後、第3期工事などが進められるが、物価高騰なども続いていくものと推察される。今後の事業実施に関してはどのように認識しているのか伺う。					
4	半島防災について	(1) 半島振興法が、半島地域での防災対策の強化が明記され、法改正された。この改正を受け、松江市は、どのような取り組みをされるのか伺う。 (2) 島根県は、今後10年をかけて100億円規模の半島防災対策を計画している。松江市の意向等、どの程度反映されるものなのか、今後の見通しについて伺う。					
5	姉妹都市である珠洲市への復興支援について	(1) 姉妹都市である珠洲市に対する市長の思いを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	3	議員名	海徳邦彦	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
		(2) 珠洲市の復興状況について伺う。					
		(3) 現在、災害派遣として松江市の職員を派遣しているが、今後も、職員を派遣するのか伺う。					
		(4) 珠洲市をもっと応援する為、珠洲市民との絆を深めることも大切と思う。そこで、松江市内において官民挙げて、珠洲市等の商品を紹介販売できる物産展を開催すべきと考えるが、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	4	議員名	森本秀歳	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
1	ガス局民間譲渡後の対応	(1) ガス局の民間業者への譲渡後については、お客様・地域経済・松江市の「三方よし」の事業展開を期待するところだが、契約書に則り進められているか検証の必要があると考える。検証するための機関を設置するのか。設置しないのであればどのようにして検証を行うのか、考えを伺う。					
2	新たな土地利用制度の検討状況	(1) 「市域内のバランスの取れた発展」を実現するため、線引き制度に依らない新たな制度構築に向けて検討を開始するとされた。これまでも公民館区での市民説明会やシンポジウムなど開催されてきた。今年度も公民館区ごとに意見交換会が現在開催されているが、参加者が少なく、市民の関心の度合いが低いように感じるが、この実情について見解を伺う。 (2) 線引き制度に依らない新たな土地利用制度の構築に向けた取り組みの進捗状況、今後の取り組みについて伺う。					
3	産業支援	(1) 作業現場の熱中症対策 ア 今夏は昨年以上の猛暑に見舞われ、今なお厳しい残暑が続いている。熱中症対応が義務化され、春先から各事業所では準備が進められてきた。暑さ対策については基本的にはそれぞれの事業所で対応すべきものと思うが、遮熱効果のある屋根の設置、新たな空調設備の設置など高額なものを必要とする事業所も少なくない。国や県ではこうした設置の対応が困難な企業に対して支援制度はあるものの、対象者の年齢制限など条件があり、必ずしも使い勝手が良いとは言えないという声もある。夏の猛暑は今後も続くものと思われるが、作業現場の暑さ対策について、市としてもなんらかの支援が必要と考えるが見解を伺う。 (2) 最賃の引き上げを受けて中小企業への支援策 ア 2025年度の島根県の最低賃金が71円引き上げられ1,033円の答申があった。引き上げ額が過去最高であり、1,000円の大台に乗ったことは評価すべき額である。また、経営側からも採用難、人材流出の課題がある中、賃金の底上げにより雇用確保につながることから必要との認識がある。しかし、一方で特に中小零細企業に与える影響も大きく、人件費を生み出すことが困難な企業も少なくない。島根県ではこれに対応するための原資確保の支援を強化する方針を固めたと報じられたが、市としても県の対応に呼応した支援、きめ細やかな対応が必要と考えるが、市の見解を伺う。 (3) 雇用確保・人材確保 ア ここ近年、飲食などのサービス業や製造業、医療・介護職場など、幅広い分野で人手不足が続いている。人材確保のために様々な手立てを考えなければならないが、現状の認識と対応策について伺う。 イ 将来に向けた取り組みとして、今年1月に中学生向けの職場体験イベントが開催された。中学2年生約1,800人の来場があり、市内企業も約60社の協力があったようで、大変好評だったと聞く。このイベントについての評価と今後の取り組みについて伺う。また、こうしたイベントを拡充、回数を増やすとか、そういった考えはあるのか、伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	4	議員名	森本秀歳	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
4	ラーニングコモンズの活用状況と学校図書館活用教育	(4) ものづくりアクションプラン ア ものづくりアクションプランのこれまでの実績を見ると、設備導入、人材確保、現場改善は年々伸びており、それだけニーズが高いことの表れであると思う。しかし、IT等導入事業や新製品・新分野チャレンジについては実績としては低い。何がネックとなっていると思われるか、伺う。 イ IT化やDX化はこれから必要な取り組みと思うが、アンケート調査結果を見ると、関心が向かない企業が多いように感じる。それがゆえに実績が低いのではないか。まずは関心を持ってもらうための策が必要と思うが、何か考えがあるのか、伺う。					
		(1) 昨年9月より、揖屋小学校に整備されたラーニングコモンズが運用されている。まだ1年しか運用されていないが、教育委員会として現時点でのラーニングコモンズの運用状況をどのように見ているのか伺う。 (2) ラーニングコモンズを生かしていくためには、まずは学校図書館活用教育がしっかりと継続されているのか、今一度確認すべきと思う。平成23年9月議会における私の一般質問に対し、当時の松浦市長は東出雲で培われてきた学校図書館活用教育を松江のブランドとして育てていくと答弁された。現状どうなのか。学校図書館活用教育の現状と課題について伺う。					
5	租税教室の取り組み	(1) 市内一部の中学校で外部講師を招いて租税教室が行われていると聞いた。中学校では税について公民の授業の中で学んでいるが、外部講師をお招きし深掘りした内容を学ぶことにより、生徒たちの理解はより深まっているとの感想を聞いた。主権者教育の一環として、今後、授業の中に積極的に取り入れるべきと考えるが、教育長の考えを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	5	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目		質問要旨					
1	戦後・被ばく80年 憲法生かす平和な松 江	(1) 今年は戦後・被ばく80年。松江市は、平成18年10月に「地球環境保全と平和都市宣言」、平成22年10月に「平和首長会議」に加盟。平和首長会議は「第1回核兵器禁止条約再検討会議に、まずはオブザーバー参加し」「一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准していただくよう強く要請します」と石破首相に対し要請した。松江市長もその立場にたつべきと考えるがどうか、伺う。 (2) 7月に行われた参議院選挙において過去の侵略戦争を美化し「外国人の犯罪が多い」「外国人は生活保護を受けやすい」などのウソを拡散する極右・排外主義の流れが現れた。外国人への敵意と差別をあり、社会に差別と分断を広げることは、民主主義と人権を著しく踏みにじる行為である。松江市は総合計画で「松江市民のモットーは寛容」を2030年の目標に掲げており、小泉八雲氏をモデルにしたドラマも始まろうとする今、国籍・年齢・性別や性自認、障がいの有無などにかかわらず多様性が尊重され自分らしく過ごせる、多文化共生社会をめざす松江市の姿を内外に示すべきである。 ア 市長の第2次世界大戦、太平洋戦争についての見解を伺う。 イ 参議院議員選挙で浮上した「排外主義」について見解を伺う。					
2	スポーツ振興と暴 力の根絶	(1) 松江市でインターハイ男子バレーの大会が行われ、開会式で「暴力撤廃アクション指導者宣誓」が行われた。このように各競技団体に努力はあるものの、様々なスポーツの現場で、なかなか暴力やハラスメントをなくすることができていない現実がある。高校野球甲子園大会では広島広陵高校の部内暴力、名古屋のソフトテニス部では顧問に瘦せるよう執拗に指導され部員が適応障害に、東京都葛飾区の中学校で女子ソフトボール部の外部コーチが、部員に繰り返し暴言を浴びせ部活を続けられなくなったなどの報道がなされている。スポーツに暴力はあってはならず、どんなハラスメントも許されない。そこで以下伺う。 ア 松江市内のスポ少や、部活動、スポーツ活動上での暴力・ハラスメントはどのように把握されているか、また現状はどうか、伺う。 イ 松江市の暴力・ハラスメント根絶への取組みはどのようなか、伺う。 ウ 外部指導者への研修などは行われているか、課題があれば伺う。地域移行にあたって子どもの人権を大切に作る取り組みが更に必要ではないかと保護者やPTAでも声が上がっている。認識を伺う。 エ 松江市スポーツ推進計画や総合計画のスポーツの目標に暴力やハラスメントについて言及がない。暴力根絶の取組を入れるべきではないか。スポーツの指導などにおいて、指導と暴力の考え方について市長の見解を伺う。					
3	猛暑対策・市民生 活支援は	(1) 今年は国内最高気温を更新する41.8度を記録するなど災害級とも言える猛暑だった。熱中症が最も多く発生するのは住居であり、命を守るために高齢者世帯などへのエアコン購入・設置費用を独自に補助する自治体が増えている。 ア 生活保護世帯は新規申請の際にエアコン設置が可能 ①適切な利用がなされているか状況を伺う。 ②生活保護世帯および非課税世帯、高齢者や障がい者のおられる世帯を中心にエアコン購入費用の助成を求めるがどうか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
質問項目			質問要旨			
4	こども誰でも通園制度		イ 子どもたちの過ごす学校体育館のエアコン設置は令和15年までかけて中学校での設置が行われることになっている。中学生よりも体の小さい小学生の方がより熱中症の危険は高い。早急に学校体育館エアコン設置計画の前倒しと拡充を求めるがどうか。 ウ 身近な施設である地域の体育館で適切に涼しく過ごせるようエアコン設置を求めるがどうか伺う。			
			(1) 「こども誰でも通園制度」は、各自治体が認可した施設と保護者が直接契約を行い、保護者の都合で、預ける施設や日時を申し込む仕組みで、国は2026年度に全ての自治体で実施するよう求めており、今議会に条例案が提出されている。制度開始にあたってどのように配慮されているか確認する。 試行実施された自治体では保育の関係団体から「預けはじめ」の事故が多いことや、アレルギー対応が困難なこと、親の都合で毎回異なる施設を利用すると特定の大人との安定したかわりが必要な発達段階にある子どもにとって、強いストレスを与えることなどの懸念が出されている。また事業者と利用者を自治体が認可することから事故等の際には自治体に責任が発生することが明らかになっている。専門家は、乳幼児の死亡事故の圧倒的多くを占める認可外保育所も要件を満たせば認可されることから、「死亡事故等誘発のリスクが高まる」と指摘している。松江市の現場の保育士や園長から「一時預かり保育でも大変な状況。現状をよく踏まえて検討を」「公的責任を明確にしてほしい」「子どもの命と安全を守る上でも、在園児への影響や保育者の負担が大きくなる」と声がある。日本の保育士の配置基準は諸外国と比べて低く、保育士1人が見る子どもの数が多すぎるのが現状であり、そこに新たな子どもが短時間、日替わりで来るとなれば現場の負担はさらに増える。保育士の配置基準を抜本的に改善すること、親の就労にかかわらず公が責任を持つ保育施設に入れる体制をつくることが重要であり、一時預かりの制度を周知していくこと、孤立を防ぐ子育て支援こそ自治体に求められる対応だと考えるが所見を伺う。			
5	島根原発 故の教訓は	福島事	(1) 石破茂内閣が今年2月に閣議決定した第7次エネルギー基本計画は、東京電力福島第一原発事故後に掲げてきた「原発依存度を低減させる」を削除し、原発の「最大限活用」と新たな原発建設を明記した。日本社会に深刻な被害をもたらした東京電力福島第1原発事故を忘れたかのような原発回帰だと言える。多くの福島県民が苦しんでいる現実を直視すれば、原発の最大限活用など許されない。 ア 島根原発3号機と同じ改良型沸騰水型原子炉は、東京電力柏崎刈羽原子力発電所6・7号機に採用されている。その設計技術者である後藤政志氏が、放射性物質を外部に出さないことが原発の安全で最も重要だが、柏崎刈羽6号機などの改良型沸騰水型原子炉は「格納容器が小さすぎて、圧力上昇時の破損防止のために放射性物質を含む気体を外部に放出するベントまでの時間が最も短いなど重大な欠陥がある」と指摘した。2号機の負担に加え、危険な3号機の稼働は許されないと考えるがどうか伺う。 イ 福島事故の除染土について、政府は9月から中央省庁約10カ所で再利用を進め、出先機関での利用拡大を目指す工程表を発表した。民間工事での再利用を推進するとあるが、松江市で利用される可能性について市民に不安が広がっている。市民に知らされず民間事業者の活用がすすむことは許されないと考えるが、市長の見解を伺う。			

一般質問通告事項

令和7年9月9日
第5回松江市議会定例会

順序	5	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月16日
		質問項目		質問要旨			
6		水道料金値上げ 市長の政治姿勢を問 う		ウ 福島事故の教訓を正しくいかすのであれば、これ以上の原発推進を行うべきでないを考える。市長は「再生可能エネルギーが必要な電力を安定供給できるようになるまでの当面の間」「原子力発電に頼らざるを得ない。」と発言しており原発の依存度を上げるのは本意ではないはずだ。立地自治体として、これ以上の負担は難しいと国に対して原発依存度を低減するよう声を上げるべきではないか。見解を伺う。 (1) 市長は、昨年12月に水道料金の引き上げ案を諮問し、今年の5月に審議会はその内容を了承。私は6月議会で物価高騰に市民生活が追いつめられている今、市民生活をさらに圧迫するような料金値上げ等を行うべきではない、一般会計から繰入等を増やすこと、8割を県営水道に頼る松江市は、県に対して高い水道料金を引き下げるよう訴えることが必要だと訴えた。独立採算制と受益者負担を理由に上下水道局長は、一般財源の投入は考えていないとした。そもそも地方公営企業の独立採算性は、地方公営企業法17条の2によれば、行政的経費と不採算的経費を独立採算の対象から除外し、一般会計等による公費負担としている。総務省通知によれば、一般会計等が負担すべき費用は公営企業繰出金として計上されることとなっており自治体独自の判断で基準外繰出いわゆる市独自の財源投入も行うことができるとしている。 受水費について毎回の決算予算の審査で「県営水道事業は積算根拠、需要予測を見誤ったために高すぎる水道料となっている」ことを指摘してきた。平成4年当時、尾原ダムに参画する4市町は、将来的な人口増で需要が増加すると1日3万5,400トンの供給を県に要請しました。その内松江市分を計算すると3万747トン。現在の契約水量が2万1トンであることからすれば施設利用率は6割ほどであり、松江市も需要予測を見誤った、つまり、使わない水まで市民の負担となった。改めて伺う。 ア 市長は、県に対し、県営水道事業は、積算根拠、需要予測を見誤った高すぎる水道料を見直すよう声を上げるべき、同時に松江市も需要予測を見誤った責任を認めることを求めるがどうか伺う。 イ 基準外繰り出しを大幅に増やし、料金値上げで市民に負担を押し付けることはやめるべきと考えるがどうか伺う。 ウ 水道は言うまでもなく、命の水、市民のライフラインだ。水道法の目的は憲法25条生存権に直結している。公共の福祉から排除される市民をこれ以上生むことは許されない。市長の見解を伺う。			